

Nakayoshi Cycle

Newsletter

August 2020



目次

NC全体の活動再開方針について	2年 本橋
新歓イベントのお知らせ	2年 井田
後閑杯のごあんない	3年 青木
†夏†を探しに新潟へ	3年 武縄
Cruising through the Skyline Boulevard	4年 岡
2222km のツールド夏休み	OB2 大熊
編集後記	2年 小野

なかよしさいくる全体の活動再開方針について

駒代 本橋悠人

初めに

長い間団体として本格的な活動ができていませんでしたが、活動を再開することとなりました。新たな新入生も一緒に活動していきます。初回の活動として9月19日（土）に初回の新歓ランを行います。その後4週に渡って毎週末に一回ずつ新歓ランを継続していきます。

以下に記した方針は、参加者個人の健康のためで、かつサークルとして継続的に活動を行うために定めたものです。小さくない負担を強いることにはなるとは思いますが、長期的に少しでも充実したサークル活動を続けるためにご協力ください。特に体調不良、さらには感染したときに、絶対に活動に参加せず、必ずサークルに報告するようにしてください。秘密は守られますし責められるような事でもないことを理解していただいて、感染拡大防止に協力してください。

下記の原則に則って、新歓ラン及び今後の活動を行っていきます。感染拡大の状況等を踏まえながら適切に判断していく方針です。

0. 新入生へ

長い間、一緒に活動できることを楽しみに準備してきました。例年と同様の形でサークルに迎え入れることはできませんが、一緒に各地に出向いて自転車に乗ることは大きな楽しみを共有できると思います。自転車という乗り物の性格上、少人数で楽しむこともできますし、サークルの仲間と誘い合って新たな場所に行く楽しみを味わってもらいたいと思っています。今はコロナにだけ気を取られがちですが、自転車はそれ自体危険な乗り物でもあります。だからこそ自転車ライフを満喫する方法をどんどんお伝えしたいと思っています。

一年生の方（サークル加入一年目の意）には、数に限りはありますがサークル車の貸し出しも行っています。まだ自転車を持っていないという人でも気軽に参加してください。何か分からないことがあれば些細なことでも気軽に Twitter の DM に連絡してきてください。

1. 再開初期の新歓ランの方針

店舗等の中での飲食を行わずに通常よりも縮小した形でランを行います。実際の新歓ランの実施方法は別項目で詳細に書いています。

2. 再開初期には実施しない事（最初の数回を予定、参加者の状況で変更の可能性有）

一日の企画

実際の参加者の様子などを観察、考慮しながら検討をしていきます。熱中症の危険が軽減されてからは昼食で店内飲食を行わないなどの工夫をして全日の企画を行う予定です。

3. 当分の間実施しないこと。

合宿等の**宿泊**を伴うイベント

コンパなど**店内飲食**を伴う企画（サークルのメンバー複数人でサークル活動の後に店内飲食を行うことも同様に扱います。）

4. 新歓ランに際しての注意

(ア) 通常より走行距離を短めのランにして可能な限り昼食を挟まずに実施できる時間構成にします。そのため通常よりも集合時間が早くなる傾向にあります。暑い中、店内で涼むことなしに長時間走るのは（特に慣れていない一年生に）とてもリスクが大きいと考えられます。特に始めの数回の新歓ランに関しては、休憩の頻度・長さなども含め上級生は特に気を付けて企画を行う予定です。

(イ) 以下の人は参加を認めません。

① 自分自身が少しでも体調不良である人。

② 自分自身、または同居する人が濃厚接触者として判断された場合。

(ウ) 昼食、間食によらず**店内での飲食を禁止**とします。飲食物は通常より余裕をもって準備するようにして下さい。その上で必要なものに関してはコンビニ・自販機での購入のほか、テイクアウトなどを行い、店外で十分な距離をとって食事など行うようにして下さい。また当然ですが飲食物の共用などは行わないようにしてください。

(エ) すべての活動では参加者の名簿を作成し、一緒に行動した班の構成を記録してもらうこととします。途中でやむを得ず班を組み替えた際なども必ず報告するようにして下さい。

(オ) 接触確認アプリ(COCOA)をインストールしておくようにして下さい。

(カ) 家と、集合・解散場所までの往復（自転車の場合を除く）と休憩中の時にマスクを着用して下さい。走行中は熱中症の危険も大きいので着用は求めませんが、通常よりも車間距離を長くし走るようにして下さい。列が長すぎて危険になることを避けながら十分配慮して下さい。

5. 活動再開前にサークル構成員にお願い

サークルとして安全に活動を継続していくために「課外活動の再開にあたっての注意」 https://www.c.u-tokyo.ac.jp/COVID19_20200731.pdf を確認お願いします。大学、サークル全体として課外活動継続のためにご協力ください。

これに加えて東京大学の方は「新型コロナウイルス感染症に関する eラーニング」を受講しておくようにしてください。

6. 二年生で準備してきたこと。

活動休止中も、定サイ、特訓ラン等の計画書を作成しています。次の執行代は経験が通常より少ない状況になることも予想され、その状況下でも引継ぎをできるだけ円滑に行えるように準備しています。執行代の引継ぎ時期は延期を視野に検討しています。決定し次第連絡します。通常 12 月に引継ぎを行っていますが、経験の薄さは重大な事故にも直結しうるので様子を見ながらの引継ぎになると思います。

7. 現在の駒場キャンパスの状況

東京大学駒場キャンパス所属（教養学部生等）以外の人への立ち入りは原則禁止されています。入構可能な人に関しては、入構申請を下記のサイトから行えば入構が認められています。

8. 入会方法について

新歓ラン、10 月以降の定サイ等のサークルのイベントに参加いただき、その際に入会の意思表示と年間のサークル費（保険代含）3500 円（例年は 4000 円）をお支払いください。（サークル費の支払いは加入表明時すぐでなくて構いません）

以上がサークルとしての方針の原則です。もし個別の事情で別途対応が必要な方がいればご相談ください。

新歓イベントのお知らせ

2年 井田理人

新入生の皆さん、こんにちは！新歓担当の井田です。ようやく新歓イベントが解禁されることになりました！ここでは新歓イベントの日程や詳細についての告知をします。新入生でなくてもウェルカムですので興味のある方はぜひきてくださいね！！

*参加表明はこの冊子の連絡先にあるメアドへのメール、もしくはなかよしさいくる公式 Twitter の DM にて受け付けております。

*こちらの記事内に貼っている申込みフォームから申し込むこともできます。フォームの中にルートの詳細が記載されていますので、是非参考にしてください。

*サークル車の貸し出しを希望する場合は定員がありますので、参加希望の場合は早めの連絡を強く推奨します！

9/6(日) オンライン説明会@zoom

公式 Twitter でも告知している通り、**9/6(日)の13時**から zoom を用いたオンライン説明会を行います！活動を再開する上での方針や注意事項、さらにはこの先の新歓ランの詳細についても説明します。質問等どんどん受け付けますので、ぜひ参加してください！

参加を希望する際は、人数把握のため、公式 Twitter の方に DM を送っていただくと助かります(もちろん、ドタ参も大歓迎です！！)

9/19(土) 第1回新歓ラン@荒川サイクリングロード

自転車サークルということで、サイクリングロードを走ります！自転車は持っていないなくてもサークルから貸し出すことができるので大丈夫です(数に限りがあるので参加希望はお早めに)！！

当日は 事前に貸し出した or 自分の 自転車を畳んで小さくして電車に乗ってもらい、現地に集合してもらいます。自転車のたたみ方、乗り方などすべて私たちが教えますから安心してくださいね！詳しくは参加表明後のメールでお知らせします。

※事前の自転車貸し出しや保険加入のため、参加表明は3～7日前に締め切らせていただきます。お早めをお願いします。

※自転車を借りる場合、ラン実施日より前に一度駒場キャンパスに来ていただき、そこで自転車を受け取る形になります。ご了承ください。

～コース情報～

集合場所(スタート地点)：和光市駅 9:00 集合(予定)

解散場所(ゴール地点)：押上駅 12:00 解散(予定)

距離:27.5km

荒川の土手をゆったりと走ります。景色もよく、サイクリングの虜になること間違いなしです！

<申込みフォーム>

<https://forms.gle/pXjw6VsJgf86srK4A>

9/27(日) 第2回新歓ラン@江ノ島(境川サイクリングロード)

第2回新歓ランでは神奈川県境川を下って江ノ島に向かいます！きれいな湘南の海と江ノ島を観光しましょう！今回も自転車の貸し出しができますので安心して下さいね！

※事前の自転車貸し出しや保険加入のため、参加表明は3～7日前に締め切らせていただきます。お早めをお願いします。

※自転車を借りる場合、ラン実施日より前に一度駒場キャンパスに来ていただき、そこで自転車を受け取る形になります。ご了承ください。

～コース情報～

集合場所(スタート地点)：中央林間駅 9:00 集合(予定)

解散場所(ゴール地点)：片瀬江ノ島駅 12:00 解散(予定)

距離:30.0km

今回は境川のサイクリングロードをゆったり走ります。最後に江ノ島大橋を渡ってゴールとなります。湘南の海を満喫しましょう！

<申込みフォーム>

<https://forms.gle/Ernvvgx5yyU9LmNZA>

10/3(土) 第3回新歓ラン@江戸川サイクリングロード

第3回新歓ランでは江戸川サイクリングロードを走ります！今回もゆるーく走っていきましょう！もちろん今回も自転車の貸し出しができますので安心して下さいね！

※事前の自転車貸し出しや保険加入のため、参加表明は3～7日前に締め切らせていただきます。お早めをお願いします。

※自転車を借りる場合、ラン実施日より前に一度駒場キャンパスに来ていただき、そこで自転車を受け取る形になります。ご了承ください。

～コース情報～

集合場所(スタート地点)：松戸駅 9:00 集合(予定)

解散場所(ゴール地点)：春日部駅 12:00 解散(予定)

距離:35.1km

今回は江戸川のサイクリングロードをゆったり走ります。荒川とはまた違った景色が見られること間違いなしです。

<申込みフォーム>

<https://forms.gle/6hQyit2rfhH6wYkXA>

10/10(土) 裏新歓ラン@ヤビツ峠

裏新歓ランでは、きつい坂を登って高いところからきれいな景色を見ます！新歓ランの中ではガチ勢向けのイベントといえます。坂を登った後の絶景はたまりません！ヤビツ峠は自転車愛好家の中でも人気の峠ですから後悔はさせません！もちろん自転車の貸し出し可能です！

※事前の自転車貸し出しや保険加入のため、参加表明は3～7日前に締め切らせていただきます。お早めをお願いします。

※自転車を借りる場合、ラン実施日より前に一度駒場キャンパスに来ていただき、そこで自転車を受け取る形になります。ご了承ください。

～コース情報～

集合場所(スタート地点)：秦野駅 9:00 集合(予定)

解散場所(ゴール地点)：秦野駅 12:00 解散(予定)

距離:27.6km

秦野駅から出発し、ヤビツ峠を登って下りる往復コースです。距離は短めですが高低差がかなりあり、通常の新歓ランと異なりガチ勢向きのランとなっています。

<申込みフォーム>

<https://forms.gle/ar2kerYD8Ap77btKA>

後閑杯のごあんない

3年 青木

みなさまご無沙汰しております。会長の青木です。いよいよなかよしさいくも再始動の時間が近づいてきましたね。

さて、毎年恒例の富士スバルラインでのヒルクライムイベント、**後閑杯**を今年度も開催します。例年は山中寮での前泊や都内での打ち上げを行っていましたが、感染症対策の観点から今年はこれらのイベントを見送り、**ランのみの開催**とします。

また、前泊を行わないため、**集合時刻を繰り下げます**。現時点では1時間繰り下げて10時集合・11時出走を予定していますが、それでは間に合わないという方がいらっしゃれば青木までご連絡ください。臨機応変に対応します。

後閑杯はかつてサークル内で発生した痛ましい事故を教訓に、**安全への意識を再確認**するために続けられてきたイベントです。まずは後閑杯開催の経緯について、以下のページに目を通しておいてください。

<http://www.teamnc.net/bicycles/enkaku>

後閑杯は、なかよしさいくるで唯一「タイムを計る」イベントです。富士山麓から五合目まで約25km・獲得標高1500mの道のりを走り、そのタイムを競います。サポートカーも付くので自信のない方でも安心して挑戦できます。

なお、今年は新入生のヒルクライム経験が全くない状態での開催となるので、安全面を考慮して**新入生の参加を制限**します。新入生の参加にあたっては**自前の自転車を持っていてヒルクライムの経験があること**を条件とし、上級生により万全のサポートができるよう**参加人数を5人程度(先着順)に限定**します。

【日程】 2020年10月17日(土) 雨天時は翌週24日(土)に順延

【集合】 富士山世界遺産センター 10:00

【解散】 同上 15:30頃予定

【参加費】 参加人数によるが、例年2000～3000円程度

【担当連絡先】 青木慧 aoki-kei@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

参加表明フォームは後日LINE・メールでお送りします。しばらくお待ちください。

十夏十を探しに新潟へ

3年 武縄



・前置き

コロ助のせいでオンライン授業のみとなった何も面白くない3Sがやっと終わって、夏休みに入ったというのにやることは普段とあまり変わらず、家に引きこもって6時寝3時起き……(AMとPMは明記していません)。こんな生活をしていたらいつの間にか8月も半分を過ぎていた。去年の夏はクソ暑い中でもいろんなところ行っていろんな景色を楽しんでいたのに、今年は家の壁だけを見て終わるのか……?となったので十夏十を感じるために新潟に行くことにした。やっぱ夏といえば田んぼとか夕焼けだね。

・1日目



新幹線で上野から新潟に着弾。

コロナ自粛期間中の禁欲生活とアベノマネーのおかげで金だけはあるんじゃ。でもなぜか上野から新潟まで1万円って安いなあ〜と思った(新潟は陸の孤島というイメージがあるので)。

新潟市に来たものの、別にこれといってやることもないので市内を散策。左の写真の橋は萬代橋といって重要文化財らし

い、知らんけど。信濃川が雄大でよかった。

新潟市を一通り見て回ったら、電車で吉田駅へ。たかが30kmぐらいの距離だけど今回は観光メインなので…(靴はただのランニングシューズだし、サドルバッグの代わりにクソデカリュックサックを背負っている。何よりロードバイクを本格的に乗るのが五ヶ月ぶりだからね、しょうがないね)。



大きな鳥居(上越新幹線開通を記念して建てられたらしい)があったり、田園風景が広がっていたりして気持ちよく走れて彌彦神社に到着。日陰で涼しいし、雰囲気は最高、さすが越後一宮って感じだ。

彌彦神社の参拝が終わったら、一旦宿に向かってクソデカリュックサックを置いて弥彦山へ…

久しぶりのヒルクラ、キツすぎ！！！！



10%の坂を少し登って下ると弥彦山スカイラインの入り口に到着…ん？二輪車終日通行止めの標識が……。ペーパードライバー歴1年半だったこともあって自転車が通行可能かどうかかわからず、しかも圏外だったので電波が入るところまで降りて確認することに。結局人のブログなどを見て軽車両通行不可とは書いていないから、OKか！wとなって走行再開。自転車

は軽車両、それはそうって感じだ。山頂で夕日を見る予定だったが、ここで無駄に時間使ってしまったのと獲得標高が増えたせいで焦ってすぐ疲れてしまい、山頂に着いたのは日没後だった、萎え。飲料水がなくなって頭にかけるためにボトルに入れたホテルの水道水

を飲みつつ登ったので割とギリギリだった(ここヒヤリハット案件)。体感ヤビツ並だったけど、久しぶりのヒルクラすぎてめちゃくちゃキツかった…。なんとか山頂にのぼったのに陽はすでに沈んでいるし、天気は微妙に悪くて佐渡島ははっきり見えないし、喉は乾いて仕方なく山頂のポッタクリ自販機を利用する羽目になるし……完全敗北です。まあ黄昏時もそれはそれでいい感じなので、OKか！w



←佐渡島は肉眼なら見えました

↓敗北の飲料水(180円)



ダウンヒルする頃にはあたりはかなり暗くなっていて、虫は顔に当たるは茂みのガサつく音が怖いので爽快感0だった。まあ今回弥彦山登ったのはヒルクラのリハビリのためだから、こんな苦行も多少はね？

下山したら夕食ソースカツ丼ッッッ！！！！！！



全国の有名なソースカツ丼の地域もだいぶ制覇してきた。このままソースカツ丼マスター、目指します(あとは伊那と福井だけ、多分)。

久しぶりのヒルクラで疲れた体を岩室温泉で癒したらこの日は就寝。宿泊したホテルの案内してくれた人が昔マウンテンバイクで三国峠(群馬、新潟の県境)を超えて新潟まで走ったことがあるらしく、登るしかなくなってしまった。ちなみに「東京都市民」なので Go to キャンペーン対象外です、萎え。

・二日目

この日の目的は星峠の棚田を見ること。柏崎駅か犀潟駅まで輪行してそこから自走するか〜とか思っていたら越後線の本数がアだったのと弥彦線と信越本線の接続がアだったので東三条まで約 20km 自走する羽目になってしまった。田園風景がいいですね、、、とか思っていたらいつの間にか到着していた。特筆すること、なし_____。(田んぼは綺麗だったので、最後に上げておきます)。

柏崎駅から行くよりも犀潟駅から行った方が距離低いし獲得標高も小さいので歳型まで輪行、電車の窓から見える日本海が最高に「夏」だった。



犀潟、着弾_____。

ここの改札を通るときに駅員さんに話しかけられて、「星峠の棚田見に行くんですよ〜」と言ったら「あそこはすんげえきついよ」と言われ、その後も水分補給はしっかりとれと n 回言われてしまった。地元の人がきついというんやから、きついんやろなあ…、ということでコンビニで計 2.5L の飲料水を買って出発。

最初の 20km はほぼ平坦、田んぼの中を駆け抜けてこれぞ夏~~~~~ッッッッ！！
て感じでテンションも上がっており、前日 30km くらい走ったおかげで足もほどよく慣れてきていた。このまま星峠の棚田まで行っちゃうぞ〜、と思っていた……。

いやあ、星峠の棚田への道、キツすぎッッッ！！！！！！！！

坂になった途端いきなり 15, 6%はある坂が続いて早速足をついてしまった。自転車 NAVITIME の無課金で利用できるルート検索、あれはダメですね。容赦無く山道をルートにねじ込んでくるのでゲキ坂が多すぎる。少し迂回することになっても国道を走った方が

いいです、絶対に。今ならそう思えるが当時は気づいていないので激坂をゆっっくりと登っていくしかない…。



←こういう道、見るからに地雷だと思うんですけど、自転車 NAVITIME はぶっ込んできません。

しかもこういう山道を走っていると顔の周りに虫が集ってきて非常に鬱陶しかった(メマトイっていう虫らしいよ)。暑いのと虫が鬱陶しいので、だいぶ参っていたが、なんとかあと2km くらいのところまできたら、今

度は通行止めの標識が！！
斜度 10%越えの道で消耗していたので斜度の緩い道で大きく迂回することは諦めてこれまたきついつい坂を登って小さく迂回することにした。
通行止め情報は、事前に調べよう！
迂回路の道も坂と虫の付き纏いに耐えてようやく登り切ったら少し降ってついに星峠の棚田へ……………



夏です _____



素晴らしい棚田、これぞ夏って感じ。ただ山の中だったのと、半袖半ズボンだったので所謂舐める口系の虫が足にくっついてきたり周りを飛んでいたりで気持ちになってしまった。夏の山は虫除けスプレー必須ですね。



この棚田が撮れるスポット周辺をうろうろしていたらクワガタムシを見つけた。野生のクワガタムシを見つけたのが久しぶりすぎて(小学生以来?)正直棚田よりこっちの方がテンションが上がった。ヒラタクワガタですかねこれは……。クワガタムシを発見して懐かしい気持ちになったところで、日没前に宿につきたいので棚田を出発。

↓「きゃっしい」は地元の方で「いらっしゃい」の意味らしい(いらっしゃいトイレ、ウェルカムドリンクみたいな語感だ)。



2.5Lの飲料水がなくなったので自販機にて補給していると、地元の方が話しかけてきた。「棚田を見にきたんです」と言ったら「たいしたものじゃないでしょあれ笑」と言われて(笑)という気持ちになった。ここから降ってからまた登れば宿のある松之山温泉に着くが、このヒルクラはずっと5,6%くらいの坂で気持ちよく登ることができた、最高。6時くらいに着いたので温泉で汗を流して夜ご飯を食べに行く。



優勝です。

ヒルクラで汗をかきまくった体にラーメンや餃子の塩が染み込んでくる。熱々の料理を口にした後に冷えたビールを一気に流し込む。不味いわげがない。いまいち新潟っばさは感じられないかもしれないが、今回の旅行で一番美味しい食事だったかもしれない。満腹になって宿に戻り、この日は就寝。当然 Go to キャンペーンは適用されない。

・3日目

朝食付きの宿を取ったので朝ごはんを食べに行く。この二日間ろくな朝食を食べていなかったでQOLがめちゃくちゃ高かった。



これで魚沼産コシヒカリおかわりあり！w炊飯器の中のコメも完食してあげました。朝からエネルギーを充填できたので爆速で清津峡へと向かう。ダウンヒルした後に少し登れば清津峡です(雑紹介)。今回の旅行、新潟だし日焼け止めいらんか！wと思っていたら二日目の時点で腕が真っ赤になって、この日も日差しが突き刺さるように痛かったので途中のコンビニで日焼け止めを購入。日焼け止めを常備するのが面倒なので暑くないインナーが欲しくなった。

そんなこんなで清津峡到着です。

溶岩が固まってできた柱状節理が剥き出しになっている谷の中を通るトンネル内を歩きながら谷の景観を満喫！トンネルの最深部には水が張ってあって外の景色が反射してとても良い。綺麗な景色に癒されながら暑さに参っていた体を休めることができました。足湯もあるので、最高。



清津峡を出発したらしばらく上り基調の道が続く。



途中きつめの坂があったが、適度に休憩を挟みつつしっかり登っていく。この頃になるとヒルクライムのやり方を思い出してきた感があって、そこまで消耗せずに登り切ることができた。この交差点を今回は湯沢方面に抜けるが、左に行くと魚沼スカイラインが…。景色が綺麗なからいつかは登りたいね。

とりあえずここからダウンヒル。

途中雪崩注意の標識やチェーンタイヤへの切り替え場所の標識があって、クソ暑いのにやっぱり雪国なんやな…という気持ちになった。ダウンヒルを終えて少しアップすればもうそこは越後湯沢駅。

17時に到着する予定だったが、着いたときには14時30分だったので、今回の旅行の大トリ、ぽんしゅ館へいくことに決定。

そういえばここは「雪国」の舞台らしい。冬に来るのもありかもしれない。

↓川端康成の「雪国」の冒頭の石碑



まずは日本酒風呂TTTTT！！！！



温泉に日本酒を入れているらしい(そもそも入浴用酒の存在を初めて知った)。酒の匂いは全くなく、正直普通の風呂と見分けがつかない…。でも効能はちゃんと感じられたからOKか！w。鞆らってというカフェで一休み。



次は利酒コーナーツツツツツツツツツ！！！！！！



500円でコイン5枚がもらえるので、必要な枚数のコインを入れればお酒がお猪口一杯ももらえるというシステム。ここで「嘉山」「KENICHIRO」「高千代」「越乃寒梅」「越後美人」の五種類の日本酒をいただいた。日本酒があまり得意ではなかったが、店員さんにお勧めを聞いて楽しく飲むことができた、最高。

最後に爆弾おにぎりツツツツツツツ！！！！！！



米一合を使用しているおにぎり。これは角煮味で620円。なお、大爆おにぎりなるものがあるらしく、米四合を使用して2200円で売っている。見た目以上に米がぎっしり詰まっているので満腹になれる。持ち帰りもできるので、この日の夕食はこれになった。

他にもお土産コーナーを散策したが、コシヒカリがそのままお土産として売っているのが面白かった(でも高い！)。

こうしてぼんしゅ館を満喫したらすでに 18 時になっていたのので宿に向かい、宿の温泉にも入ってこの日は就寝。

・四日目

この日は三国峠に登るだけ。予定では鈍行で後閑駅まで行き、群馬側から三国峠を上って新潟側へ降りて越後湯沢をゴールにする予定だったが、輪行が面倒くさいので新潟側から登って新潟側へ降りることにした(なぜ越後湯沢ゴールにこだわるかというと、帰りに温泉に入りたいから)。越後湯沢を出発してしばらく登り坂を漕いでいるといきなり太腿の裏がすりそうになって DNF か〜? となったが、準備体操でよく伸ばしたら治った。



スタートから 5km 地点ですでに標高は 600m、三国峠の頂上が約 1000m なので「あとたったの 400m ちゃん!!」と思ったが、謎のしょぼいダウンヒルが 2 回あるのであと 700m くらいアップする必要がある。この日は天気がいいのに気温はそんな高くなく(途中 23 度の表示があった)、坂もキツくないので最高のヒルクライム日和となった。この辺りはスキー場(苗場スキー場とか有名)

が多かったが、オフシーズンなのでホテル街に人がほとんどいないので車通りもなく、快適に走ることができた。ただ、数カ所のトンネルで工事を行っていて、登り坂のトンネルでは急かされている気がして、下り坂のトンネルでは道がガタガタでパンクが怖いのと手が痛いので面倒だった。三国峠の頂上のトンネルでも工事をしていて感慨が何もなかったのは絶許案件。



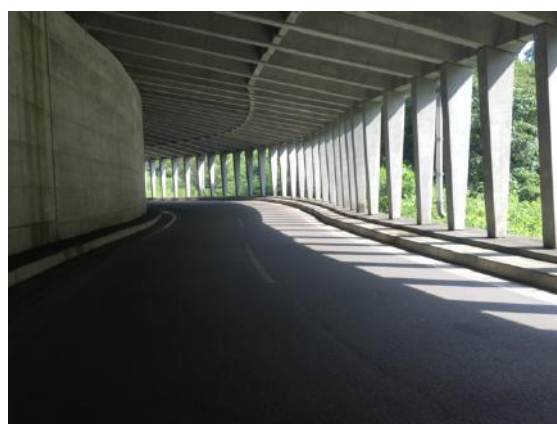
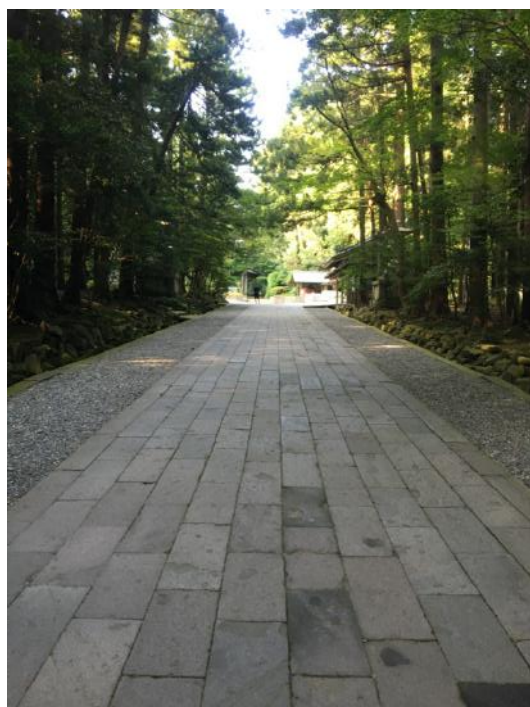
↑ 萎えすぎて苗場スキー場になった

帰りは降るだけ、はい。

越後湯沢に戻ったら、前日と同じく風呂！酒！おにぎり！の三点セットを楽しみ、新幹線で東京へと帰還した(越後湯沢～上野で6000円って安くない???)。

鈍った体を動かすことができ、久しぶりにロードバイクを乗り回したし、田んぼの中を走ったり、暑い中山を登ったりできて夏を感じられたし、大満足の旅行だった。

1～4日目にとった写真を以下に貼っておきます。





Cruising through the Skyline Boulevard

轍 2019年度版 会長連載最終号 2020年8月会報記事

NC3年4年 岡 俊輔

2019年8月、私は大学のプログラムでアメリカ・カリフォルニア州に滞在していました。普段は授業やその他の課外プログラムがあり、さらに2か月間レンタルしていたのは街乗り用の自転車に限りなく近い…クロスバイクだったので、当面ロードバイクはお預けかな？とっていました。

ただ、一步キャンパスの外に出るといい感じの山が広がっている上に、見るからに高そうなチャリを乗り回している方々が沢山いるのを見ると、自転車乗りとしては黙ってみていることができませんでした。

ということで、ちょうど予定の無かった土曜日、8月10日を利用して、一日ゆるポタに出かけてみました。

キャンパス内の自転車屋さんで朝イチに自転車を借り、とりあえず行先を決めます。

あまり詳しくは決めていなかったのですが、大学のサイクリングチームのサイトのおすすめコースを取り入れつつ、山の尾根を走り続ける道を選びました。



レンタルバイクはFUJIのSL4というロードバイクで、なんと足回りは105のフルカーボンバイクでした。正直、鍵などをつけて一日30ドルだったので、どんな自転車が来るのか不安でしたが、期待以上でした。



とりあえずキャンパス内を少し転がして、その性能や乗り心地を試したのち、ルートに沿って山の方へ向かいました。アメリカは右側通行なので、基本的には右端に沿って走りますが、時折右折斜線のある交差点の場合は自転車専用レーンが設けられています。直進する場合、両側を車に挟ませて少し怖いですが、慣れればどうってことないです。

ゴルフコースを抜けて、I-280の高速道路を超えたあたりから登りが始まります。正確な勾配はわかりませんが、5-8%くらいの坂が断続的に続きました。



このあたりから、カリフォルニア州によって Natural Reserve(自然保護区)に制定されているエリアとなるので、ほとんど自然が手付かずの状態が残っていました。また、ぼつぼつと民家も見られたのですが、どれも巨大な家でした。さすがアメリカ、というよりかさすがシリコンマネー！と思わず思ってしまうほどです。この区間は自分以外の自転車乗りも多かったのですが、誰一人についていくこともできませんでした。米製ゴリラはスケールもパワーも違いすぎます...

さらにその先のものすごいカーブから先の区間はかなりうっそうと森が広がっている上に、ひさびさのヒルクライム、しかもフラットペダル、ということで苦戦しました。唯一の救いは普段見ないサイズの杉の木でしょうか。交通量も少ないので、森林を感じながらクライムを続けました。



途中の Skywood という集落で休憩。西部劇に出てきそうなマーケットに少し立ち寄りました。お店自体は超ローカルで、中に入ると飲み物からスナック類、サンドイッチなどまで売っていました。そして外にはパイプをふかしているいくつかのおじさんたちが…彼らは一体何を吸っていたのでしょうか笑(カリフォルニア州はたばこだけでなく、大麻もある程度までは合法化されています。もちろん日本人は海外で吸ってもアウトですからね!) そしてどこでも、サイクルジャージでうろついていると「どこから来たの?」と声をかけられます。「2か月だけ Stanford、もとは日本だよ!」と答えると Wow!とか Really? Welcome to California とかすごく welcome な雰囲気でした。中には日本を訪れたときの話をしてくれる人まで。日本ってすごい国ですね。COOL JAPAN!

Skywood から目指していた Skyline Boulevard に入ります。

Skyline Blvd.に入ってからもしばらくは5-7%程度の登りが続きました。制限速度が50mphの道路でしたが、そもそも交通量がほぼ皆無の道路だったので、通過していく車もかなり幅を空けて通ってくれて、それほど恐怖はありませんでした。むしろ、中には手を振ってくれる子供たちまでいました。やる気が出ますね!



ヒルクライムにも少し疲れが見えてきたとき、ついに待っていた景色にたどり着きました！

California のシリコンバレーを一面に見下ろす景色をどうぞ！！



かなりつらい登りでしたが、この景色で疲れが吹っ飛びました。
また半島なので、反対側には太平洋が広がっています。この海の先に日本が…
中には山の中で馬に乗っている人もいて、優雅な生活だな〜と眺めていました。



このあと、展望台になっている場所があったので、そこまでさらに漕ぎ進めました。途中上り坂がまだありましたが、両サイドに絶景が広がっていたのであまり気になりませんでした。

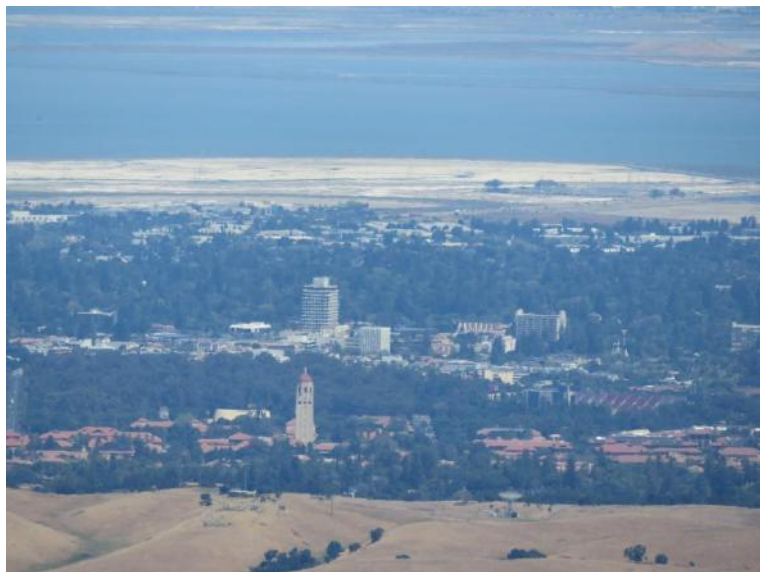


展望台では、バイクでやってきたライダーの方となぜかヒルクライムの話とか、このエリアの話で盛り上がりました。日本から来て Stanford に通っていることを伝えると、かなり驚かれました。

記念写真を一枚！奥には実は San Francisco の街が見えています。



他にもたくさんこのエリアの写真を撮りました。Google の本社やかの有名な Instagram や Facebook の本社もこの中に映っています。興味ある方はぜひ探してみてください！ちなみに Google の本社は別の用事でしっかり自転車で訪れました。



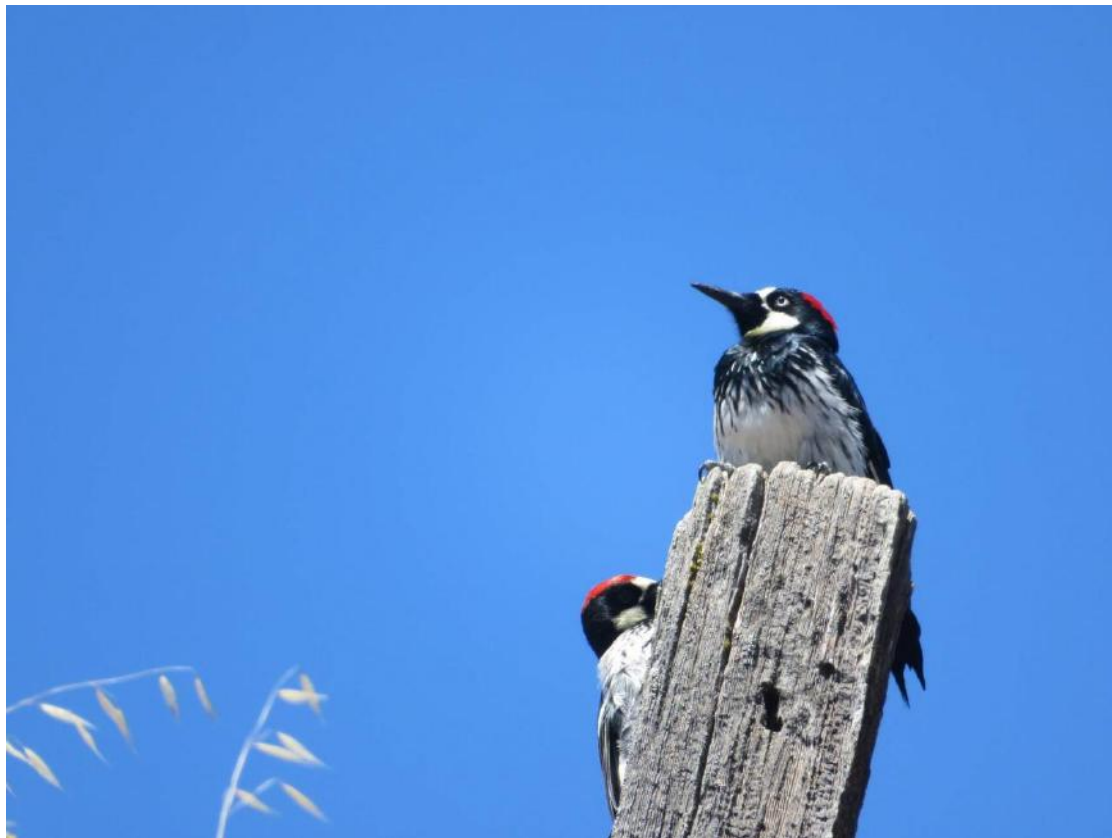
大学のキャンパスを山の上から見下ろす。奥に見えるのは Palo Alto の街です。Facebook と Instagram の HQ もこの少し映っています。



ビルが立ち並んでいるのが San Francisco です。少しかすんでいますが、シンボルの Salesforce Tower も見えています。



じっくりと 30 分ほど景色を楽しんだ後、再びサドルにまたがります。



途中、キツツキの音がしたので、止まって写真を撮りました。日本だとなかなかお目には書かれませんか。

ここから、登った分しっかりダウンヒルが始まります。

もちろん、ガードレールなどといったものもあまりありません。しかもよりによって斜度がかなりきついので、スリル満点。さらにカーブまでもきついので数回事故りかけました。



景色がきれいなのでつい見とれますが、あまり気を取られると forest にまっしぐら。それどころか崖下に good bye ですね。

ちなみに、写真は撮りませんでしたがこのエリアにはたくさんの豪邸が並んでいました。のちに聞くと、これらはみんな「別荘」らしいです。シリコンバレーで成功を取めた人が別荘として所有しているとか。中には敷地面積が駒場キャンパスくらいありそうな家もありました。Redwood に囲まれた山の中の家に住んで、毎日この景色で目覚めたいですね！

なんだかんだスリリングなダウンヒルを経て、キャンパス近くまで戻ってきました。まだ時間はお昼過ぎ。大学のいつもの Arrillaga Dining Hall で食べる案もありましたが、せっかくロードバイクがあるので、Palo Alto の downtown へ。おしゃれなお店が多く並んでいる素敵な Downtown です。

ここで、食べたものがこちら。



一見普通のハンバーガーに見えますが…？

実は Impossible Burger といって、パティやチーズを含めて、原材料に一切動物性たんぱく質を使用していないハンバーガーです！でも食感も味もジューシーさも通常のハンバーガーと変わらず、運動後ということもあり、めちゃめちゃおいしかったです。むしろ、普通のハンバーガーと比べてヘビーさがなくて、アメリカのハンバーガーにしては、さっぱり食べられるので、ぜひ皆さんも機会あれば食べてみてください。

そして、一日のうちに絶対欠かせないのがコーヒースタンプ。

アメリカ人、本当にコーヒー好きですね。スタンフォードの授業でも、先生や起業家の人たちと対面で話したいな、と思った時、近くのコーヒー屋でもコーヒー一杯でもいかがですか？と聞くと、みんな快諾してくれました。時間にも、ところにも余裕のある先生方で、とても多くのことを学びましたね。

というわけで、お気に入りのカフェで休憩。ここには滞在中何度も行きました。キャンパス内の Coupa Café と同じくらい。。。。



これは帰国後に知ったのですが、なんとこのカフェ、日本にもあるみたいです。しかも発祥地のカリフォルニアと日本にしかないだとか。San Francisco, Santa Cruz, Palo Alto, LA、とカリフォルニアの地名の後に KITA-KAMAKURA, ROPPONGI, SHINJUKU と出るものですから、これはもう ㄴまじか！みたいな気持ちですね。VERVE Coffee Roasters というお店です。ぜひ機会あれば立ち寄ってみてください。

というわけで、前半にヒルクライムをはさみながらもなんだかんだゆるポタになったライドでした。最後に、簡単にまとめておきます。

Skyline Blvd. おすすめの理由

- ✓ 絶景が広がっている。ベイエリアと太平洋両方見える
- ✓ のどか。超のどか。
- ✓ 自然に囲まれたライドができる
- ✓ 多分斜度そんなにきつくない
- ✓ 交通量少ない
- ✓ 道が鬼広い
- ✓ 人が優しい
- ✓ 終わったらグルメとおいしいコーヒーがある
- ✓ ところが豊かになる
- ✓ 適度な登りとダウンヒルが楽しめる
- ✓ 景色が変わるので飽きない

Skyline Blvd. がおすすめできない理由

- ✓ アクセス：東京大学からおよそ 16~3472 時間かかる
早いのは HND から JAL/ANA の SFO 便で SFO から Caltrain の Milbrae 駅まで自走、そこから Caltrain で Palo Alto まで輪行。ただ、現在(2020 年 9 月 2 日)、ほとんどの日本在住者を対象に、もれなく 14 日間のホテル生活が入国時にプレゼントされる。そのため、移動時間が 16 時間から 3472 時間に伸びてしまう。
- ✓ ライオンが出る
全区間で Mountain Lion に注意が必要。出くわしてしまったら、体格の小さい日本人は Mountain Lion

をちぎり倒すしかない。もしくは現地のマッチョに助けを求める

✓ 高級車にあおられる

車ではありません。高級ロードバイクに煽られることがあります。

✓ 右側通行

これだけは慣れる以外に方法がありません。

✓ 自転車レーンが時折左から分離する

車道を横断することになりますが、大体のドライバーは自転車にやさしいです。ハンドサインができれば、優先的に入れてくれます。

✓ スケールが大きすぎて、距離感覚が狂う

大学の裏山感覚でヒルクライムをすると、立派な峠であることに気づきます。日本でつかんだ距離感覚は通用しません。ちなみに、San Francisco と Los Angeles は同じカリフォルニア州なのですが、じゃあロードバイクで行けるじゃん！などと思っははいけません。イメージとして東京-広島間をオール砂漠と森林、たまに小さな町がある、のような感覚でいてください。補給なんて甘い考え方はありません。

でも、全体的には、私が自信をもってお勧めできるルートです。

ぜひ皆さんも California で自転車に乗る機会や、ドライブする機会があれば、訪れてみてください！早く自由に旅行ができる日が来るまでのお楽しみで。。。。。

PS: 冒頭にも書きましたが、この記事のライドは 2019 年に行われました。書き始めたのは 2019 年 8 月、完成したのは 2020 年 9 月です。私もその間に会長からヒラへと降格しました。

2222km のツールド夏休み

こんにちは、OB2?の大熊です。流石にもう現役で知ってもらえてる人は少ないかもしれないです。また定サイや合宿が再開されたらいつかお邪魔したいです。

夏の暑いのが苦手なので北日本を満喫してきました！木曜の夜仕事を終え、町田から大洗まで輪行し、大洗港からフェリーに乗って17時間で苫小牧に上陸しました。乗船中は現地の宿をほぼ全部予約して、慌ててルートを組みました。そのくらい無計画でも長距離ツーリングは組めます、旅立てば結果オーライなのです

今回は千歳までが前ラン、同じOB2の今城（バケモノ）と走った千歳から網走までの本ラン、網走から花巻までの後ランという流れでした。目的は宗谷岬と網走監獄！

北海道はどこも涼しくて快適でした。本州入りした瞬間、猛暑に襲われて徐々に体力を削がれて花巻で力尽きましたw。どちらも海鮮が最高においしくてずっと感動してました。特に稚内のウニとか豊浦のウニとか猿払村のホタテとか大間の本マグロとかむつ市のカニとかおすすめです！

計画ではD5に利尻島と礼文島を回る予定でしたが体質的に台風を呼んでしまって稚内でゆっくりしました。あとはD9に摩周湖も曇天だったのでいつかここらへんリベンジしたい！実行されなかったのはこれらと最終日（飽きた）の仙台までの区間で、ほぼ走りきれて楽しかったです。

細かい毎日の日記は書く気力が無かったので各Stravaのログにありったけの写真と短い文を添えました。走行ルートはこんな感じです。



2020/08/07-19 北海道編 1840km

D1 苫小牧～室蘭 65

<https://strava.app.link/3b76GhJds9>

D2 室蘭～千歳 150

<https://strava.app.link/kTThVmFds9>

D3 千歳～留萌 155

<https://strava.app.link/nwh50Jwds9>

D4 留萌～稚内 200

<https://strava.app.link/838USZVgs9>

D5 レストデー：稚内、ノシャップ岬観光

<https://strava.app.link/Lr4aU1Qds9>

D6 稚内～興部 215

<https://strava.app.link/zfmklhfds9>

D7 興部～網走 140

<https://strava.app.link/cvZ6VPhes9>

D8A 網走～北見 45

<https://strava.app.link/jQSsjAwes9>

D8B 北見ループ：屈斜路湖へ 130

<https://strava.app.link/0IQDZ1Aes9>

D9 北見（美幌）～釧路 155

<https://strava.app.link/QvTbH1Nes9>

D10 釧路～帯広 150

<https://strava.app.link/8l7MiQQes9>

D11 帯広～支笏湖 205

<https://strava.app.link/gtsGa70es9>

D12 支笏湖～大沼 190

<https://strava.app.link/evsb8y6es9>

D13A 大沼～函館フェリー 30

<https://strava.app.link/5vQqFJCfs9>

2020/08/19-21 北東北編 380km

D13B 大間～むつ 50

<https://strava.app.link/ym09SRMfs9>

D13C 恐山ループ 35

<https://strava.app.link/9l8smcigs9>

D14 むつ～十和田湖 130

<https://strava.app.link/IZSrLMags9>

D15(終) 十和田湖～花巻 165

<https://strava.app.link/5ucVpuZfs9>



編集後記

2年 小野智裕

お久しぶりです。編集・広報担当の小野です。暑い日が続きますが皆さんいかがお過ごしでしょうか。コロナ禍に伴う外出自粛もあり、今年度は自転車にほとんど乗れていない方もいると思います。私もその一人です。時間のある2Sセメスターのうちに色々な場所を走りたいと思っていたのですが、ついにロードバイクに乗ることはなく秋を迎えました。冬に積極的に走るとは思えないので秋のうちに行きたい所を消化せねばと思うところです。

会報についてですが、サークル活動を休止していたこともあり4月に発行した新歓特別号以来、発行ができませんでした。執行代の代わりがいつになるかは未定ですが、これからは毎月出す予定ですので記事の寄稿などよろしくお願いします。特に、10月頃に発行する轍では記事が例年に比べて減ってしまうことが予想されるので寄稿していただけると嬉しいです。

さて、9月からサークル活動が再開されます。今年は変則的な事が多く、初めのうちは半日のランであったり、従来の形で行うことはできません。また、新歓も秋になってしまいましたが、とにかく新入生の皆さんと共に走れる日を楽しみにしています！